

【新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言】Ⅱ

11月14日に長野広域圏の感染警戒レベルを「4」に引き上げられました。そして11月19日の段階では、直近1週間の新規感染者数は人口10万に当たり21人。また県内全域の入院者数は95人となり、350床ある新型コロナ用病床数の27%。いずれもレベル「5」の基準を上回る数値であります。レベル「5」は県独自の「非常事態宣言」です。今現在では、社会経済の影響を懸念して、すぐに外出自粛や営業短縮など要請は発令されておりませんし、GOTOトラベルも継続されております。再度、新型コロナウイルス感染症の正しい認識と感染拡大防止に努めていただきたいと思っております。

感染拡大は北信圏域を中心として県全体に広がりを見せております。そして学校にもその波が押し寄せてきております。

PTA会員の皆さん、大人として、保護者としての冷静なご対応をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

そして「思いやり」と「支えあい」の心＝結(ゆい)の心で、一丸となって新型コロナウイルスを乗り越えて行きましょう。

◆共同宣言時のコメント

『愛する故郷信州の、お父さん、お母さんをはじめとする保護者の皆さんにお願いがございます。感染した子どもたち、また医療従事者の子どもたちに対して、誹謗中傷を失くすため、まず私たち保護者が噂したり、その噂話を拡散したりしないように、

正しい「人権感覚」をもとうではありませんか。それがわが子どもたちの幸せであり、信州全体の子どもの幸せにつながります。子どもたちは常に私たちの話を聞いております。

「ストップ噂話の拡散！」

まずは私たちから！！

私たち長野県 PTA 連合会では、新型コロナウイルス感染症に関して、感染予防の徹底と子どもたちの学びの機会と人権を守るために日々活動しております。

今回の共同宣言を幅広く周知徹底していくと同時に、新型コロナウイルスなどの感染症に関して正しい知識をもち、人権問題に関しても学びを深めていくことができるように保護者と先生方と協力しあって取り組んで参りたいと思います。』

◆新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言

～思いやりと支えあいでコロナを乗り越えよう～

新型コロナウイルスに感染された方やそのご家族、医療従事者等への 誹謗中傷や差別が後を絶ちません。人の心を深く傷つけるこうした行為は、人として決して許されるものではありません。誹謗中傷を恐れるあまりに受診をためらうことは、更なる感染の拡大を引き起こしかねません。必要以上に自粛してしまうことは、地域経済の停滞をより深刻なものにします。私たちが闘うべき相手は「ウイルス」です。私たちは、「県民を守る」「感染拡大を止める」「地域経済を守る」の3つの視点に立ち、「思いやり」と「支えあい」の心で一丸となって新型コロナウイルスを乗り越え、

誹謗中傷のない社会、健やかな暮らしと活気 ある地域経済の実現に取り組んでいきます。

一、 感染された方やそのご家族などに対する差別や誹謗中傷は許しません。子ども、従業員、地域の全ての人を差別や誹謗中傷から守ります。

一、 医療従事者をはじめ、私たちの暮らしを支えるため頑張っている 方々に心から感謝し、応援します。

一、 家庭、職場・学校、地域が協力し、感染した人も安心して帰ってこられる、思いやりとやさしさがあふれる地域づくりに取り組みます。

一、 信州版「新たな日常のすゝめ」を実践しながら、地元のお店やサービスを積極的に利用して、地域経済の回復・活性化に取り組めます。

新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言
～思いやりと支えあいでコロナを乗り越えよう～

新型コロナウイルスに感染された方やそのご家族、医療従事者等への誹謗中傷や差別が後を絶ちません。人の心を深く傷つけるこうした行為は、人として決して許されるものではありません。誹謗中傷を恐れるあまりに安堵をためらうことは、異なる感染の拡大を引き起こしかねません。必要以上に自棄してしまうことは、地域経済の停滞をより深刻なものにします。

私たちが闘うべき相手は「ウイルス」です。

私たちは、「市民を守る」「感染拡大を止める」「地域経済を守る」の3つの視点に立ち、「思いやり」と「支えあい」の心で共に立ち、新型コロナウイルスを乗り越え、誹謗中傷のない社会、健やかな暮らしと活気ある地域経済の実現に取り組んでいきます。

- 一、 感染された方やそのご家族などに対する差別や誹謗中傷は許しません。子ども、従業員、地域の全ての人を差別や誹謗中傷から守ります。
- 一、 医療従事者をはじめ、私たちの暮らしを支えるため頑張っている方々に心から感謝し、応援します。
- 一、 家庭、職場・学校、地域が協力し、感染した人も安心して帰ってこられる、思いやりとやさしさがあふれる地域づくりに取り組みます。
- 一、 信州版「新たな日常のすゝめ」を実践しながら、地元のお店やサービスを積極的に利用して、地域経済の回復・活性化に取り組めます。

信州版(2020年)9月25日

賛同者

- 長野県教育委員会
- 長野県市長会
- 長野県町村会
- 長野県経営者協会
- 長野県中小企業団体中央会
- 長野県農工商議所連合会
- 長野県職工会連合会
- 日本労働組合総連合会長野県連合会
- 長野県消費コンソーシアム信州
- 長野県PTA連合会
- 長野県高等学校PTA連合会
- 長野県私立高等学校PTA連合会
- 長野県看護学校PTA連合会
- シトラスリボプロジェクト県内賛同団体



長野県は シトラスリボンプロジェクトに 賛同しています



Citrus Ribbon
PROJECT



しあわせ信州

「シトラスリボンプロジェクト」って…？

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、たとえ感染しても地域的なで実態の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる空間をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指す。愛知県のあるグループ「ちょびっと19+」が始めたプロジェクトです。

「シトラスリボン」のそれぞれの輪は、「地域」「家庭」「現場（または学校）」を表現しています。

長野県は、「シトラスリボンプロジェクト」に賛同し、
心身ともに安心した暮らしを続けられる社会を目指します。

長野県農林文化課入魂・男女共同参画課 TEL 026-225-7106